

2006年11月24日

報道関係者各位

『ベルメゾン生活スタイル研究所 スタイルモニターレポート Vol.18』

20-50代女性 1098人に「フリーペーパー」について聞きました。

この2-3年でフリーペーパーの利用が増えた 32.3%  
今後フリーペーパーの利用が増えそう 33.4%

～ケータイやネットが普及してもフリーペーパーはまだ健在～

株式会社千趣会（本社 大阪市、代表取締役社長 行待 裕弘）が運営するベルメゾン生活スタイル研究所では、女性の生活スタイルや意識についての調査を随時行っております。

さて、日本生活情報紙協会の調査によると、全国でフリーペーパーを発行する企業は950社で、1200紙誌、2億9375万部が発行されているそうです。発行部数は2002年発表時より約7300万部も増加。そういえばここ最近スーパーやコンビニエンスストア、駅の構内など様々なところにフリーペーパーを並べたラックを見かけるようになりました。そこで今回は、フリーペーパーやフリーマガジンの購読実態についてスタイルモニター1098人に聞いてみました。

普段、フリーペーパーをよく読む 24.5%、わりと読む 44.7%

普段、フリーペーパーをよく読んでいる人は4人に1人、わりと読んでいる人 44.7%を加えると約7割の女性が普段からフリーペーパーを利用していることがわかりました。

フリーペーパーを利用する目的は、1位「情報をタダで入手できるから」2位「クーポンが付いているので」3位「地域の情報を入手できるから」

フリーペーパーを利用する目的を聞いてみると、「情報をタダで入手できるから」という人が72%でトップ、次いで「クーポンがついている」「地域の情報を入手できる」「暇つぶし」「何かお得情報がありそう」「生活に役立つ情報がある」という声が続きました。

ここ2-3年でフリーペーパーの利用が増えた人はおよそ3割

ここ2-3年でフリーペーパーの利用が増えた人は32.3%で3人に1人という結果になりました。逆に利用が減ったと答えた人は12.6%で全体的には利用する人が増えていることがわかります。

約半数の女性が、フリーペーパーとインターネットで情報収集の使い分けをしている

情報収集のしやすさでは8割以上の方がインターネットと回答。一方で情報収集の使い分けについて聞いてみると、「きちんと使い分けしている」7.1%、「わりと使い分けしている」41.0%を合わせると約半数の人がフリーペーパーとインターネットを使い分けしているという実態が見えてきました。

3人に1人がフリーペーパーの利用は今後も増えそう

今後、フリーペーパーの利用は増えると思いますか、という質問に対しては33.4%の人が「増えそう」と回答。逆に「減りそう」と答えた人はわずか3.0%で、フリーペーパーは今後も情報収集の一手段として女性の生活の中にしっかり浸透していくと思われます。

なお、今回の調査結果について詳しくはベルメゾン生活スタイル研究所ホームページ「くらしのたまご」ライブレポートをご覧ください。

[http://www.kuratama.jp/report\\_live/040/live040.htm](http://www.kuratama.jp/report_live/040/live040.htm)

調査の方法：ベルメゾン生活スタイル研究所のスタイルモニターバンクに登録している 20～59歳の全国の女性で有効回答数は1098人。インターネットを使って2006年11月7日～11月9日に実施した。

本件に関する問い合わせ先

(株)千趣会 ベルメゾン生活スタイル研究所 坂本 典子 (<mailto:n-sakamoto@senshukai.co.jp>)

〒530-0035 大阪市北区同心1-6-23 TEL：06-6881-3043 FAX：06-6352-9286